



水戸運転職場交流会

国労水戸運転協議会

4月28日に恒例の水戸運転協議会主催の運転職場交流会が、水戸地方本部会議室で開催されました。本来ならば静公園でお花見をかねてという予定でしたが、当日は雨模様ということもあり急遽地方本部に場所を移しての交流となりました。

中野事務長の進行ではじめられ、主催者挨拶をした菊池議長は「あいにくの雨でも25名の仲間が集まってくれた。外注化提案もされて当初4月と言われていたが、実施されていないのは施策の矛盾と私たちの闘いの結果ではないかと思う。引き続き取り組みを強化していきたい。」とあいさつがあり、地方本部から大和田副委員長と坂本執行委員が参加し、代表して大和田副委員長から採用差別についての臨時全国大会が成功裏に終わったこと。組織拡大のとりくみ状況については昨年より宣伝物の受け取りもよく職場での説明会も何箇所かで行われたことなどの報告とあいさつを受けました。東日本本部から武笠調査部長と木立運転協議会議長、森岡青年部書記長が参加し、武笠調査部長から①政府・与党の解決案が示されて臨時全国大会で採用差別問題で出口に向かってのスタートラインについた。解決まで職場から団結を崩さずに行くようにしよう。②組織拡大でも各地での奮闘がされている。職場配属されてからの取り組みが大事。今年も新採獲得にさらなる取り組みの強化と大胆に加入を呼びかけよう。③JR東日本の決算が発表されたが、人件費を

さらに削る目標が発表されている。その中には運転の外注化の人工も含まれているのではないかと、そうしたことを見れば承服できる経営計画ではないのではないか。と挨拶と報告を受けました。

参加者からは「長年の遠距離通勤が5月1日に職場異動により解消することになった。」「主任職に合格して会社の対応が変わってきた。」「定年退職時の劇例会に他労組も含め50名以上が参加してくれて職場に壁はないと実感した」などの報告がありました。

また、東京運転協議会からも松戸電車区分会が参加して、同じ常磐線で働く仲間同士として交流を深め合いました。(文責運転 木立)

